

作家・NPO法人福島ダイアログ理事長

安東量子氏 特別トーク開催!!



福島第一原発の処理水放出を振り返る：暮らし・原子力・水

2026年 4月19日 (日)

- ・ 日時：2026年4月19日 (日) 19:15～20:45 (19:00開場)
- ・ 場所：SHIBUYA QWS (渋谷キューズ) クロスパーク
渋谷スクランブルスクエア 15F (東京都渋谷区渋谷2-24-12) ※渋谷駅直結
- ・ 題目「福島第一原発の処理水放出を振り返る：暮らし・原子力・水」
- ・ 入場無料／事前申込不要 (直接会場にお越しください)

会場へのアクセス
詳細は下記QRから



司会：長谷川健司 (東京外国語大学・東日本国際大学)

原発事故後の福島で、住民主体の対話と再生への活動を続けてきた作家・安東量子さんをお迎えし、トークイベントを開催します。安東さんは、NPO法人福島ダイアログ理事長として、原子力災害後の福島で住民と国内外の専門家をつなぐ対話の場を10年以上にわたり運営してきました。著書『海を撃つ：福島・広島・ベラルーシにて』(みすず書房)では原発事故後の日常と再生の記録を、『ステイプ&ボニー：砂漠のゲンシリョクムラ・イン・アメリカ』(晶文社)ではアメリカの核施設をめぐる旅の中で浮かび上がる歴史・民族・国家と人間の絡み合いを描いています。朝日新聞では「福島季評」を連載中です。

本講演では、人と社会、自然を結びつけてきた「水」という存在に着目し、福島の浜通りでの経験を起点に、この問題を地域社会と世界とのつながりの中で考えます。

トーク後には質疑応答の時間を設けます。どなたでも参加できます。皆さまのお越しをお待ちしております。

登壇者：安東量子 (あんどう・りょうこ) 氏

広島県生まれ。福島県いわき市在住。作家。NPO法人福島ダイアログ理事長。2011年の東京電力福島第一原子力発電所事故後、住民主体の放射線防護活動を行う「福島のエートス」を設立。2012年より国際放射線防護委員会 (ICRP) ダイアログに参加し、2016年より運営責任者を務める。2019年NPO法人福島ダイアログを設立。主な著書に『海を撃つ：福島・広島・ベラルーシにて』(みすず書房、2019年)、『ステイプ&ボニー：砂漠のゲンシリョクムラ・イン・アメリカ』(晶文社、2022年)。朝日新聞にて「福島季評」連載中。

